

芸名名/保存団体名	●上演期日・行事・場所	○奉納神社
<b>1 大崎の大和神楽/大崎大和神楽保存会</b> (昭和52年 市無形民俗文化財指定)	香取市大崎地区で江戸時代の中前期、伊勢地方から来た神楽の集団によって伝えられたとされている。昭和50年に保存会を結成し、戦後一時途絶えていた神楽が復活した。また、地区では江戸時代から平成年代まで「大崎芸座連」(佐原藩)としても活動しており、昭和49年まで佐原の山車に乗演していた。演目:「馬鹿囃子・砂切・布舞・幣束舞・鈴舞」 ●4月第一日曜 白幡神社・大六天神社(11時~) ●4月15日「香取神宮神幸祭」(13時~行列) ●10月第二週「佐原の大祭秋祭り」お祭り広場披露 ○所在:香取市大崎1971番地(白幡神社)・大崎185番地(大六天神社)	佐原区
<b>2 新市場の神楽/新市場神楽鑑習会</b> (昭和60年 市無形民俗文化財指定)	香取市新市場地区で江戸時代の中期頃伝承され、出張屋に属しているという。昭和54年に神楽鑑習会を結成し、途絶えていた神楽が復活した。余興演目も多く、中でも「鳥刺し」は絶品。演目:「馬鹿囃子・砂切・布舞・幣束舞・鈴舞・鳥刺し・おかめひょうこ・鬼・籠籠・医者・看護婦・まどうまい。なおまどうまいは「和蘭内(わらんない)」(徳治流の演目)の呼び名がなまったものと考えられる。 ●4月15日「香取神宮神幸祭」(13時~行列) ●5月下旬日曜「春祈禱」天宮神社(11時~) ●12月23日「オビシヤ」天宮神社(11時~) ○所在:香取市新市場332番地(天宮神社)	佐原区
<b>3 本矢作の伊勢神楽/本矢作伊勢神楽保存会</b> (平成8年 市無形民俗文化財指定)	香取市本矢作地区で今から290年前の享保6年(1721)に、鎮守の天降神社、天宮神社の造営・遷宮に神楽を奉納したと伝えられている。昭和63年に保存会を結成している。また、地区では江戸時代から昭和30年代後まで「本矢作下座連」(佐原藩)として佐原の山車に乗演していた。演目:「馬鹿囃子・砂切・布舞・幣束舞・鈴舞・御面舞」 ●3月第一日曜「春祈禱」天宮神社・天降神社(同祭礼13時30分頃~) ●10月第二週「佐原の大祭秋祭り」お祭り広場披露 ○所在:香取市本矢作511番地(天宮神社)・本矢作918番地 本矢作運動広場(天降神社)	佐原区
<b>4 下小野の神楽/下小野神楽会</b> (平成14年 市無形民俗文化財指定)	香取市下小野地区で今から307年前の宝永元年(1704)に開始され継承されている。尾張熊田藩の流れを汲む神楽として貴重である。その昔「伊能の芝居」の神楽、と伊能歌舞伎(旧大柴町伊能地区)と並び愛された歴史ある神楽で、昭和59年に復活した。近年、鎮守の八幡神社、稲荷神社においては略儀のみ。演目:「馬鹿囃子・砂切・幣束舞・剣舞・笛舞・花子・鬼籠籠 びつこ・鳥刺し・御神舞」 ●4月15日「香取神宮神幸祭」(香取神宮本殿前にて11時~神楽舞) ○所在:香取神宮	佐原区
<b>5 牧野大神楽/牧野神楽保存会</b>	香取市牧野地区で持っているだけでも200年以上の歴史があるとされる。平成20年に53年振りに神楽四方舞が復活し、翌平成21年には余興演目も含め完全復活した。なお、地区では江戸時代より「牧野下座連」(佐原藩)としても活動しており、原、籠籠、多古等の各山車に乗演している。演目:「砂切・布舞・御神舞・剣の舞・鈴舞・狂い・鬼・籠籠・医者・看護婦・踊り・馬鹿囃子」 ●4月第一日曜「高天神社例大祭」(牧野地区公堂を9時30分下座で出演、10時30分~神楽舞) ○所在:香取市牧野1803番地 塚根福守裏手より徒歩7分、当日のみ案内看板あり	佐原区
<b>6 返田の神楽/返田郷土芸能保存会</b>	香取市返田地区で江戸時代に信州より伝えられたとされている。長く途絶えていた神楽が昭和55年に復活し、郷土芸能保存会を結成している。演目も多く、「返田神社・万歳祭」では余興演目まで披露される。また、地区では同保存会により、神楽舞にも二匹獅子も継承されている。演目:「馬鹿囃子・砂切・道・さだ・小夜の舞・拳の舞・舞・びつこ・鬼・籠籠・大陣・医者・看護婦・鳥刺し・万才・おかめ」 ●3月最終土曜「返田神社・万歳祭」(17時30分頃~) ○所在:香取市返田729番地(返田神社)	佐原区
<b>7 返田の獅子/返田郷土芸能保存会</b>	返田の獅子は12年毎(午年)の「香取神宮式年神幸祭」に供奉し、もとは毎年5月11日の「おあそび」(オビシヤ)に奉納されていたが、長く中断していた。平成2年、平成14年の「香取神宮式年神幸祭」を期に復活した。平成14年より毎年11月13日「返田神社大祭」に境内で奉納されている。また、地区では同保存会により、二匹獅子と別に神楽舞も継承している。演目:「足どり、女獅子・小獅子・お獅子」 ●11月13日「返田神社例大祭」(11時~三匹獅子舞) ○所在:香取市返田729番地(返田神社)	佐原区
<b>8 与倉の神楽/与倉郷土芸能保存会</b>	香取市与倉地区で江戸時代より戦前、戦後一度も絶やさず継承されている。地区の安全、厄除けと五穀豊稔を祈願して奉納する伊勢神楽。また、地区では「田舎下座連」(佐原藩)として、明治初期以前から明治末期までの活動が確認されている。現在の「与倉芸座連」は昭和21年に復活し、佐原の山車に乗演している。演目:「馬鹿囃子・砂切・布舞・幣束舞・鈴舞(奉舞)・舞じゃ」 ●4月第一日曜 鹿島神社・三峰神社・区長・代理人等・実行組合長宅等(16時30分頃~) ○所在:香取市与倉418番地(鹿島神社)	佐原区
<b>9 片野の神楽/片野神楽保存会</b>	香取市片野地区で明治時代には活動が確認されており、地区の安全、厄除けと五穀豊稔を祈願して奉納する伊勢神楽。演目:「馬鹿囃子・砂切・布舞・幣束舞・鈴舞・から搜し・悪魔払い」 ●1月20日より前の日曜「オビシヤ」稲荷神社・本当番宅(16時~) ●2月初年「二月シヤ」稲荷神社・受け当番宅(16時~) ○所在:香取市片野463番地(稲荷神社)	佐原区
<b>10 堀之内の神楽/表郷下座連</b>	香取市堀之内地区で明治時代には神楽が行われていた。堀之内は表郷、中郷、西郷と地区が分れ、各地区の公民館から遣下囃子を演奏しながら八幡神社に向かい、表郷、中郷、西郷の順に奉納する。現在、表郷地区のみ神楽舞を奉納している。演目:「馬鹿囃子・砂切・布舞・幣束舞・鈴舞・しらもどり」。遣下囃子にみるくという曲がある。なお、西郷地区では平成22年に下座囃子と山車曳きが復活した。平成23年「オビシヤ」では西郷流の砂切、馬鹿囃子等が復活するようである。 ●1月15日の日曜「オビシヤ」表郷公民館~八幡神社本殿(14時~) ○所在:香取市堀之内2024番地(八幡神社)	佐原区

色印は「香取市伝承芸能保存連絡協議会」平成23年2月現在加盟の7団体です。

芸名名/保存団体名	●上演期日・行事・場所	○奉納神社
<b>11 おらんだ楽隊/扇島神楽隊</b> (昭和38年 東無形民俗文化財指定)	香取市扇島地区で継承された。その昔、香取神宮神幸祭の御座舟渡航の時、引舟籠として神楽(じんがく)を演奏した事から始まった。通称「おらんだ楽隊」と呼ばれていたが、特にオランダから伝わったという意味ではなく、幕末から明治にかけて古来の神楽に洋楽を取り入れた事によりこの名がついた。行進曲風(並みだし)、「運あし」、「かけあし」、「がいせし」で行進する。昔から地域に伝わる甲冑羽織を身にまとい、時代絵巻さながらの行列となる。 ●4月15日「香取神宮神幸祭」(13時~行列) ●11月30日「香取神宮大祭祭」(夕方~)	佐原区
<b>12 木内十二座神楽/木内神楽保存会</b> (昭和60年 市無形民俗文化財指定)	神楽の起源は、香取神宮の旧大権官家伝わる日記から、江戸時代の元文5年(1740)以前に執行行われた事が明らかになっている。明治時代の一時期中断されていた事もあったが、現在は地元有志で組織する木内神楽保存会によって継承している。演目:「猿田彦命・三宝荒神・天・細女命・天原根太玉命・天ノ乙女命・手力男命・熊・受持の命・八幡・恵比寿・稲荷大明神 種子壽・素戔嗚命」 ●3月3日「木内大祭例祭」(12時30分~17時頃) ●4月3日「須賀神社祭礼」(12時30分~17時頃) ○所在:香取市木内1166番地(木内大権) ○所在:香取市木内352番地(小須賀神社)	小見川区
<b>13 境宮神社の十二面神楽/ノノ分目神楽保存会</b>	江戸時代から伝わる「神楽祭」は、一ノ分区の「初年祭」と並ぶ五穀豊稔祈願の祭礼。最古の面には、寛政11年(1799)の「紀年路」が墨書きされている。後継者として昭和43年を最後に途絶えていたものを、区内の青年有志が昭和63年に復興した。演目:「猿田彦命・三宝荒神・八幡神・宇気重吉命・天手力男命・天乙女命・天守受命・恵比寿・白狐・稲葉・建速彦彦男命」 ●3月27日の日曜「御神楽祭」(12時~17時頃) ○所在:香取市ノノ分目532番地(境宮神社)	小見川区
<b>14 織幡の神楽/織幡好友会</b>	香取市織幡地区で継承されている五人立ち獅子神楽。織幡神楽の起源は明らかでないが、安政5年(1858)に造られた「お神楽」の歴史から推察するとそれ以前からとも考えられる。お神楽と下座(お囃子)で地区内を練り歩く、新年豊年を込めた祭礼。なお、平成22年には26年振りに、神楽のお囃子の生演奏が復活した。演目:「砂切・布舞・御神舞・鈴舞・水汲み~狂い」 ●3月第一日曜「天乙女大祭祭礼(御奉祭)」(織幡青年館にて12時~神楽舞) ○所在:香取市織幡583番地(織幡青年館)	小見川区
<b>15 新里の白川流十二座神楽/新里芸能保存会</b> (昭和56年 市無形民俗文化財指定)	江戸時代の文化元年(1804)に名主大願主とする有志が永代神楽興を起し、神楽道具や編笠等を奉納。文化4年(1807)から例祭(3月20日)にて奉納が続いている。昭和50年には新里芸能保存会を結成し継承されている。また、同保存会は毎年7月第三土曜日の「八重垣神社振興祭」「神幸祭」にて屋台と神楽巡行の下座(新里園園舞)も発行している。演目:「猿田彦命・天乙女命・手力男命・八幡・三宝荒神・細女命・稲葉・田(稲荷)・受持の命・熊・須佐之男(若)・河間(稲荷)朝日(若)・夕日の御あり。 ●3月20日「八重垣神社例祭」(13時~17時30分頃) ○所在:香取市新里983番地(八重垣神社)	山田区
<b>16 山倉の白川流十二座神楽/山倉芸能保存会</b> (平成10年 市無形民俗文化財指定)	明治中頃から五穀豊稔などを願い、4月3日の村祈禱で奉納してきたという。現在は昭和42年に結成した山倉芸能保存会により継承されている。また、同保存会は正年当座より継承されている祭囃子(佐原囃子系)も助成しており、毎年12月第一日曜の「山倉大陣大祭」にて屋台と神楽巡行の囃子を担当する。平成21年にはCD「山倉大陣下座囃子」を発行している。演目:「猿田彦命・稲見舞・天孫女命・手力男命・八幡・三宝荒神・稲見舞・恵比寿・火男・田神(稲荷)・伊倉之命・稲穂」 ●4月第一日曜「山倉大陣」(13時~17時頃) ○所在:香取市山倉2347番地(山倉大陣)	山田区
<b>17 府馬の神楽(十二座神楽)/府馬神楽師</b> (平成10年 市無形民俗文化財指定)	明治の初め、当時の神職 七五三田宮司が、氏の若者に神楽を教えたのが始まり。後継者不足により昭和40年代初期に中断したが、昭和51年2月の「愛宕神社鎮火祭」において地元有志によって復活した。現在は「神楽奉納祭」として、天下泰平、万民安泰、五穀豊稔などを願い奉納されている。演目:「猿田彦命・天孫女命・八幡大神・三宝荒神・天乙女命・恵比寿大神・稲荷大明神・天稚子命・白狐・須佐之男命」 間で稲見舞(幣束舞・扇の舞)あり。(以上十通で構成されている) ●2月第四土曜「愛宕神社神楽奉納祭」(12時~17時頃) ○所在:香取市府馬1971番地(愛宕神社)	山田区
<b>18 長岡の神楽(二座神楽)/長岡神楽保存会</b> (平成17年 市無形民俗文化財指定)	もとは長岡字久保原にあった熊野神社に始まった長岡の神楽は、大正4年の合祀とともに稲葉山神社へ引き継がれ、今に続いている。神楽は平成に入って一時中断していたものの、平成15年には長岡神楽保存会が発足し、14世神楽師によって復活した。演目:「猿田彦大神・天孫女命・八幡大神・三宝荒神・天乙女命・天手力男命・神代主命・春日大神・稲葉大神・稲穂翁引白狐舞・素戔嗚命」 間に稲見舞が二番あり。(以前は十二座であったが、現在はこの順序で上演) ●2月第三土曜「稲葉山神社神楽祭」(12時~18時頃) ○所在:香取市長岡799番地(稲葉山神社)	山田区
<b>19 高萩の神楽/高萩神楽保存会</b>	香取市高萩地区で明治10年頃より継承されている。当時の高萩村の青年達が隣接する神生村(現・香取市山田区神生)より教えを受けたのが始まりとされている。毎年4月3日には区内の安全祈願として熊野神社へ高萩神楽保存会により奉納されている。演目:「馬鹿囃子・砂切・布舞・幣束舞・鈴舞・から搜し・悪魔払い」 ●4月3日「熊野神社祭礼」(9時30分頃~) ○所在:香取市高萩689番地(熊野神社)	栗源区
<b>20 浅黄の獅子舞/浅黄音楽会</b>	香取市岩戸の浅黄地区で継承されている「浅黄の獅子舞」は、隣接する高萩地区(香取市栗源区)より伝授された獅子神楽。毎年4月10日には区内の安全祈願として祖伝(せぼたか)神へ浅黄音楽会により奉納されている。なお「高萩の神楽」同様、大太鼓と小太鼓にて「雷し砂切」が演奏される。演目:「砂切・布舞・幣束舞・御神舞・鈴舞・怒り」 ●4月10日「祖伝神社祭礼」(11時頃~) ○所在:香取市岩戸1064番地(祖伝神社)	栗源区

\*香取市内で「神楽舞」または「獅子舞」を毎年上演している団体を掲載しております。(平成23年2月現在)



## 香取市里神楽マップ

千葉東地域活性化プラットフォーム事業  
香取市伝承芸能保存連絡協議会/編集

### 【香取市内里神楽上演日順一覧】

- ① 片野の神楽 ●1月20日より前の日曜「オビシヤ」稲荷神社・本当番宅(16時~)
- ② 片野の神楽 ●2月初年「二月シヤ」稲荷神社・受け当番宅(16時~)
- ③ 長岡の神楽 ●2月第三土曜「稲葉山神社神楽祭」(12時~18時頃)
- ④ 府馬の神楽 ●2月第四土曜「愛宕神社神楽奉納祭」(12時~17時頃)
- ⑤ 木内十二座神楽 ●3月3日「木内大祭例祭」(12時30分~17時頃)
- ⑥ 新市場の神楽 ●3月第一日曜「天乙女大祭祭礼」(織幡青年館にて12時~)
- ⑦ 本矢作の伊勢神楽 ●3月第一日曜「春祈禱」天宮神社・天降神社(13時30分頃~)
- ⑧ 堀之内の神楽 ●3月15日の前日曜 表郷公民館~八幡神社本殿(14時~)
- ⑨ 新里の十二座神楽 ●3月20日「八重垣神社例祭」(13時~17時30分頃)
- ⑩ 境宮神社の十二座神楽 ●3月27日の日曜「御神楽祭」(12時~17時頃)
- ⑪ 返田の神楽 ●3月最終土曜「返田神社・万歳祭」(17時30分頃~)
- ⑫ 高萩の神楽 ●4月3日「熊野神社祭礼」(9時30分頃~)
- ⑬ 木内十二座神楽 ●4月3日「須賀神社祭礼(八幡)」(12時30分~17時頃)
- ⑭ 牧野大神楽 ●4月第一日曜「高天神社例大祭」(10時30分~神楽舞)
- ⑮ 大崎の大和神楽 ●4月第一日曜 白幡神社・大六天神社(11時より)
- ⑯ 与倉の神楽 ●4月第一日曜 鹿島神社・三峰神社・区長宅等(16時30分頃~)
- ⑰ 下小野の神楽 ●4月15日「香取神宮神幸祭」(神宮本殿前にて11時~神楽舞)
- ⑱ おらんだ楽隊 ●4月15日「香取神宮神幸祭」(13時~行列)
- ⑲ 新市場の神楽 ●4月15日「香取神宮神幸祭」(13時~行列)
- ⑳ 大崎の大和神楽 ●4月15日「香取神宮神幸祭」(13時~行列)
- ㉑ 新市場の神楽 ●5月下旬日曜「春祈禱」天宮神社(11時~)
- ㉒ 返田の獅子 ●11月13日「返田神社例大祭」(11時~三匹獅子舞)
- ㉓ おらんだ楽隊 ●11月30日「香取神宮大祭祭」(夕方~)
- ㉔ 本矢作の伊勢神楽 ●12月第一日曜「御神舞」天宮神社・天降神社(13時30分頃~)
- ㉕ 新市場の神楽 ●12月23日「オビシヤ」天宮神社(11時~)

●各団体の上演日程・時刻等については、変動する事がありますので、余裕を見てお出かけ下さい。なお、神楽上演順の集込み、祭典等の開始時刻は掲載していません。  
【香取市伝承芸能保存連絡協議会】は平成22年4月に発足しました。現在、香取市内7団体の加盟で組織されています。香取市内に伝承されてきた各地の郷土芸能の保存と互いの連携を図り、次世代に継承をその目的としています。また、地域活性化と観光資源として広く知って頂くために、「香取市里神楽演奏会」の開催や加盟団体の情報交換と交流を深める活動を展開しております。

【問い合わせ先】  
○香取市観光課 TEL 0478-50-1212 ○水郷佐原観光協会 TEL 0478-52-6675

【香取市神楽マップ】平成23年2月13日 発行  
編集・発行元/香取市伝承芸能保存連絡協議会  
会長/野村 暲(下小野神楽会) 世話人/伊能鑑雄  
監修/菅井大郎(牧野神楽保存会)  
事務局/〒287-0002 香取市佐原1730 TEL 090-9009-1610(菅井)





**21 多田の獅子舞／多田の獅子舞保存会** (昭和47年 市無形民俗文化財指定)  
 香取市多田地区で継承されている三匹獅子舞。今から482年前となる享祿2年(1529)の香取神宮の古文書に登場する。昭和60年代まで多田妙見神社の祭礼に奉納されていたが、現在は12年毎(午年)の「香取神宮式年神幸祭」に供奉している。また、地区では平成12年まで「多田囃子遊」(佐原囃子)として前嶋市の山車に乗演。演目：「砂切・道笛・四方舞(獅子舞・中獅子・雄獅子)・おかき舞・乱舞」  
 ●次回、平成26年4月15・16日「香取神宮式年神幸祭」(12年毎)、多田妙見神社、佐原区内

**22 玉造・新寺の獅子舞／玉造新寺獅子連**  
 香取市玉造と新寺地区合同で継承されている三匹獅子舞。今から482年前となる享祿2年(1529)の香取神宮の古文書に、「多田の獅子舞」「山之辺のさらき舞」(鹿絶)と共に登場する。現在は12年毎(午年)の「香取神宮式年神幸祭」に供奉している。また、玉造地区では昭和20年まで「玉造下座連」(佐原囃子)として佐原の山車に乗演していた。演目：「道笛・獅子舞・中獅子・雄獅子・巫女舞・剣の舞」  
 ●次回、平成26年4月15・16日「香取神宮式年神幸祭」(12年毎)、玉造・新寺両地区、佐原区内



**23 津宮の獅子舞／津宮十区**  
 香取市津宮十区で継承されている三匹獅子舞。12年毎(午年)の「香取神宮式年神幸祭」のみ供奉しており、運行の「前儀」を勤める格式ある獅子。次回の上演は平成26年4月15日・16日。演目：「道中・男獅子・中獅子・女獅子・綱くぐり」  
 ●次回、平成26年4月15日・16日「香取神宮式年神幸祭」(12年毎)、津宮地区、佐原区内

**24 香取神宮式年神幸祭**  
 神幸祭は毎年4月15日に行われているが、12年に一度の午年には「式年神幸祭」として4月15・16日の両日に掛けて盛大に行われる。4月15日は御神輿を中心として、氏子数千名の奉仕員が行列を組み神宮を出発し津宮へと進み、利根川沿いの鳥居河岸より舞座船に移り船上天、利根川を遡り佐原河口へ御上陸し御旅所に御駐泊。翌16日も同様に行列を組み、市内を巡幸し神宮へ還御という形で書行されている。まさに「時代絵巻」さながらの大行列が行われる。●次回、平成26年4月15日・16日



**25 福大神の神楽／福田伊勢神楽保存会**  
 香取市福田地区で明治時代には行われていた。平成15年2月、鎮守の福大神の御拝殿竣工祭に於いての神楽奉納と、同年10月、氏子である「大戸神社平成成の神幸祭」に供奉し、20数年振りに復活した。囃子は「小バネ」を用いて、一貫して拍子を打つ特徴がある。演目：「砂切・布舞・幣束舞・剣の舞・鈴舞・神楽じやらし」。なお、平成15年10月大戸神社での奉納を最後に、現在活動を休止している。

**26 観音の神楽／観音神楽保存会**  
 香取市観音地区で継承され、大正時代〜埴田(旧大柴町)より伝えられたという伊勢神楽。4月第一日曜「神武天皇祭」として、鎮守の熊野神社・諏訪神社・妙見神社等に奉納される。また、昭和30年頃まで「観音下座連」(佐原囃子)として佐原の山車に乗演していた。演目：「砂切・布舞・幣束舞・鈴舞・しらみとり・踊り・馬鹿囃子」。なお、平成15年4月の奉納を最後に、現在活動を休止している。



1 おらんだ乗降  
 2 木内十二座神楽  
 3 濱宮神社の  
 4 織桶の神楽  
 5 新里の白川流  
 6 山倉の十二座神楽より「稚児舞」  
 7 山倉の十二座神楽  
 8 府屋の神楽  
 9 長岡の神楽  
 10 高萩の神楽  
 11 浅黄の獅子舞